

平成26年度第1回「安全・安心な食のまち・さっぽろ推進会議」会議結果（概要版）

【日 時】平成26年5月23日（金） 14時30分～16時00分

【場 所】WEST19（中央区大通西19丁目）2階 研修室A・B

【議 事】別添式次第に従い、議題ごとに事務局から説明を行い、それぞれについて各委員から意見・質問を求めた。

【各委員の意見・質問等要約版】

1 平成26年度 安全・安心な食のまち・さっぽろ推進事業について

(1)	「食の安全・安心おもてなし推進事業」の「栄養」とは、現行制度の「栄養成分表示の店」のことか。 (行方委員) ⇒ 現行の「栄養成分表示の店」制度をはじめとして、各部局で行っている食に関連した事業を集約し普及啓発するものになるよう、検討している。
(2)	「ミシュランの星」のような、おもてなし事業のイメージがわかりやすく好ましい。(池田会長)

2 「アレルギー物質等の表示」や「販売スタッフの育成」に関するアンケート調査結果について

(1)	ア. アレルギー物質については表示義務があるのではないか。「口頭で説明する」というのは適切ではなく、事業者は必ず表示しないとイケないのではないか。 (梶原委員) ⇒ 今回のアンケート調査対象は主に表示義務のない食品を取り扱っている事業者であり、表示方法が事業者に委ねられている中で、どのような対応をしているかを調査したものである。義務付けられたものではないが、今後、表示をしてもらえるよう働きかけていきたい。 イ. アンケートは推進計画策定のためのものなのか。 (梶原委員) ⇒ 別事業のための制度調査を目的として行ったアンケートではあったが、施策に生かせる項目・自由意見については推進計画にも反映させていきたい。
(2)	飲食店一つとっても様々な業態があり、店によってふさわしい対応も異なるため、同じレベルで調査するのはどうなのか。結果の評価が難しい。 (高橋委員) ⇒ 集計方法により業態ごとの動向をある程度把握することはできるが、本アンケート結果についてはあくまでも食の安全・安心に関する広義の基礎資料としてとらえている。また、記名方式で調査を行ったので、必要があれば更なる分析や追加確認を行うことも可能である。
(3)	ア. 3月にアンケートを実施したので回答率が低かったということだが、3月に本アンケートを行った理由は。(森委員) ⇒ 食まち関連の他事業が1月に立て込んでおり、それが終了してから詳細な調整を行ったため、アンケートの実施が3月になってしまった。

	<p>イ.「表示アドバイザー制度があると仮定して」という調査項目について、制度を行うという発表がまず先にあるべきで、仮定の質問には違和感がある。 (森委員)</p> <p>⇒この制度にニーズがあるかどうかも含めた調査だったため、このような標記になった。</p>
(4)	<p>事業者の考え方が消費者と乖離しているものがあり驚いた。また、禁煙に対する取組について、居酒屋などで想定される昼と夜とで対策の異なる店の違いがわかると良い。 (行方委員)</p>
(5)	<p>アレルギーや産地表示に対する関心が、事業者と消費者でひどく乖離しているように感じたので、近づけていく必要があると感じた。また、調査の対象事業者が多岐にわたり、結果だけだと実態がわからない部分が多い。</p> <p>販売アドバイザー制度については、クレーム対応と食品衛生知識について、両方に精通したスタッフを育成したいので、制度をもっと検討してほしい。 (松井委員)</p>
(6)	<p>協定制度の認知度が低かったことから、より周知を図ることができるよう、推進計画に盛り込むとよいのでは。また、表示の無いものについて客が店に働きかけるなど、市民側からの働きかけも必要と感じた。 (瀬川委員)</p>
(7)	<p>「産地」と「アレルギー表示」について回答パターンが似ているが、同一の事業者がそれぞれについて同じような回答をしているものなのか。(池田会長)</p> <p>⇒不明であるが、クロス集計をすれば確認が可能である。</p>

3 「札幌市安全・安心な食のまち推進条例に基づく推進計画」施策の展開について

(1)	<p>ア.「5 (3) 適正表示」について、「推奨」ではなく「徹底」という表記にして市の姿勢を示すべきではないか。 (梶原委員)</p> <p>⇒当該箇所については、条例趣旨から抜粋したものである。事業者だけでなく消費者も適正な表示のものを選択するよう推進するという意味合いもあり、少しトーンを落とした表現となっている。</p> <p>イ. 前回会議において、「食品表示に関する縦割り行政の解消」等、委員からの意見を省庁へ要望することを盛り込むという意見が出たが、それほどの部分に入るのか。(梶原委員)</p> <p>⇒まだ検討中だが、盛り込むとすれば「適正表示の推進」の中になるかと考える。</p>
(2)	<p>市民にわかりにくいため「フードチェーン」という文言を別な表記に置き換えたということだが、「生産から販売まで(フードチェーン)の～」と残す方法もあるのではないか。 (瀬川委員)</p> <p>⇒本文中に多用されるようであれば、そのような記載も検討する。</p>

4 その他

次回会議は7月頃開催を予定している旨、事務局から連絡。